善意銀行（まごころ）

月　日	寄付別	寄付者名	金額	備考
H20. 9月9日	指定	戸島　鈴木　弘道	40,000円	清遊園・きらら
〃	一般	戸島　鈴木　弘道	30,000円	
10月14日	一般	前田　金　一明	50,000円	
10月20日	一般	河中昭和38年度 卒業同期会	10,000円	
10月20日	指定	式田　三浦　昇	20,000円	河辺荘
10月31日	一般	東　石塚　良吉	5,225円	
11月4日	一般	ステップの会	5,000円	
11月10日	一般	和田　高橋　智一	50,000円	
12月15日	一般	台　石塚　雷治	4,592円	
H21. 1月6日	指定	黒沼　佐藤　雅子	30,000円	河辺荘
1月7日	指定	曽場　高橋　恒	50,000円	河辺老人ディサービスセンター
2月23日	一般	和田幼稚園	785円	
2月27日	一般	昭和40年河中卒業 還暦同期会参加者一同	57,525円	
4月29日	一般	東老人クラブ寿会	20,000円	
5月18日	指定	東　石塚　鉦一	50,000円	河辺老人ディサービスセンター

上記は香典返し、一般寄付並びに指定寄付として河辺地区社会福祉協議会にご寄付いただきました。頂きました善意は、河辺の地域福祉活動に役立たせて頂きます。ありがとうございました。

河辺地区社会福祉協議会役員名簿

任期：平成21年4月1日～
平成23年3月31日

役職名	氏名	選出区分
顧問	小野寺　一志	前会長
会長	渡部　昭一	福祉団体代表（身障者協会代表）
副会長	佐々木　元一	社会福祉奉仕者・賛同者
〃	佐藤　勇一	民生児童委員代表（民協会長）
〃	齊藤　左武郎	福祉員代表（岩見三内地区）
事務局長	山上　春一	民生児童委員代表（民協副会長）
理事	齊藤　學	サロン推進員代表
〃	五十嵐　セツノ	婦人会代表（和田地区）
〃	佐藤　眞佐子	婦人会代表（岩見三内地区）
監事	金　慶一	福祉団体代表（手をつなぐ親の会代表）
〃	佐々木　六郎	福祉施設代表（河辺荘施設長）
評議員	佐々木治右エ門	自治会長会代表（和田地区）
〃	石塚　隆	自治会長会代表（岩見三内地区）
〃	加賀谷　芳春	自治会長会代表（戸島地区）
〃	金　勇子	民生児童委員代表（民協副会長）
〃	田近　夕キ	福祉団体代表（母子寡婦福祉連合会代表）

役職名	氏名	選出区分
評議員	佐藤　孝男	福祉団体代表（老人クラブ連合会代表）
〃	藤島　優美	婦人会代表（黒沼地区）
〃	田近　久子	福祉員代表（和田地区）
〃	尾形　悦子	福祉員代表（戸島地区）
〃	村山　カヅエ	ボランティア
〃	三浦　房子	ボランティア
〃	桐沢　律子	ボランティア
〃	佐藤　さつき	ボランティア
〃	長谷川　和子	ボランティア
〃	高橋　順一	サロン推進員代表
〃	石川　純一	社会福祉奉仕者・賛同者
〃	豊島　金秀	社会福祉奉仕者・賛同者
〃	二木　金弘	社会福祉奉仕者・賛同者
〃	佐々木　重政	社会福祉奉仕者・賛同者
〃	長谷川　清正	社会福祉奉仕者・賛同者

編集後記

新たな広報委員が初めて編集に携わった広報です。これまで小野寺前会長が自ら原稿・記事を書き、割り付け・校正と一連の編集作業をほぼ一人で頑張ってこられました。その御苦労が身に染みます。

市町合併を挟む激動の時期に、河辺地区社会福祉協議会の基礎を築きあげられた小野寺さんに、最大の敬意と感謝をいたします。今後共ご指導をお願いします。　広報委員一同

河辺地区 社協だより

●編集発行●
秋田市河辺地区
社会福祉協議会
平成21年8月発行

～ 地域のしあわせをみんなで築く ～

「地域福祉」とは、地域のしあわせをみんなで築くことです。

誰もが住み慣れた地域で生きがいを持って健康に暮らし、
安心して自立した生活ができることです。

第2次秋田市地域福祉計画スローガン

就任にあたって

河辺地区社会福祉協議会会長
渡　部　昭　一

この度河辺地区社会福祉協議会の役員改選期に当り、長年河辺地区市民の安全安心な福祉を目的とし、日夜一筋に事業計画の構造改革に尽くして来られた前会長小野寺一志様が勇退された事は誠に残念の極みでございます。これまでのご苦労に対し深く敬意と感謝の意を表し、衷心より厚く御礼申し上げます。後任者として任に就く事になりましたが、浅学非才な自分であり、役員の皆様に支えられながら、随時役目を果たしているところです。今、福祉計画の活動は地域市民の皆様に役立つよう評議員・福祉員が一丸となって地域の方々の協力を求め、その計画も軌道に乗りつつあります。

近年は、全国的に進行する少子高齢化や核家族化の中で、河辺地区を含む秋田市の高齢人口率は昨年10月現在で23%となっており、一人暮らし高齢者世帯や高齢者のみの世帯が急増しております。従って老老介護をはじめとする家族機能の低下などの問題が浮き彫りになってきております。孤独になりがちな一人暮らしや、うつ病になりがちな高齢者など課題が山積みしております。

河辺地区社会福祉協議会では、これらを把握しやすらぎの糸口を探りながら、民生児童委員協議会や、町内会長会・婦人会その他の団体等との連携を図り、「一人暮らし高齢者励ましの集い」「在宅介護者リフレッシュ事業」を進め、また包括支援センター事業では、「元気づくりサロン活動」等で地域に役立つよう進めているところです。何卒河辺地区の皆様のご指導ご支援を賜り、任期中は懸命の努力を致す所存であります。どうぞよろしくお願い申し上げ、結びに皆様のご健勝ご多幸をお祈り致します。

平成21年度事業計画

秋田市社会福祉協議会は「誰もが安心して暮らせるまちづくりを、みんなの手で」を基本理念とし、「地域福祉活動計画」を策定しました。これにより今年から５年間の市社協の福祉に関する長期展望方針が示されたのであります。

河辺地区社会福祉協議会は、この方針を受け初年度となる平成21年度事業計画をたて、市全体と連帯感をもって進めることといたします。

計画達成のためには河辺地区社協が中心となり、河辺地域包括支援センター社協、河辺地区民児協、地区町内会および関係団体等との連携を図り、地域福祉充実発展を目指し、次のことを重点目標とします。

重点目標

１．高齢者の友愛と互助を深めるため、「町内会サロン」の開設を推進します。
２．長く続けている〔見守り・声かけネットワーク〕活動や〔閉じこもり防止〕活動を引き続き行い、町内会サロン活動との連携で相乗効果を求めつつ推進します。
３．子どもから高齢者まで市民参加によるボランティア活動を推進します。
４．年間事業執行は、全役員が担当制で当たり専従体制を組めない実情に対処します。
５．年間恒例となっている事業等について新体制のもとで協議し行います。
６．規約及び諸規程の改定や運営効果等、時代の要請に応えるため各委員会を組織して当たります。

敬老会の日程決まる

心よりお待ち申し上げております

和田・豊島地区　日時：９月12日（土）午前10時
会場：河辺市民体育館

岩見三内地区　日時：９月13日（日）午前10時
会場：岩見三内中学校体育館

「地域福祉の向上をめざして」

河辺地区民生児童委員協議会
会長　佐　藤　勇　一

厳しい社会情勢の中、わが国は少子高齢化社会を迎えております。私達河辺地区もそうした現象であり、最近特に高齢化等が急速に進んでおります。そのため、一人暮らし高齢者世帯をはじめ、高齢者のみの世帯障害者等が増加しております。そうした社会に対応する難しさを痛感しながら、地区民生児童委員一同、一致協力し地域で暮らす一人ひとりがしあわせであることを願いながら活動しています。

今、全国民生児童委員連合会が主唱する全国一斉活動として「災害時一人も見逃さない」運動を展開しております。我が地区民児協でも高齢者、障害者、子育て家庭の要支援に対し、日常的な見守りと生活支援を通し、災害時における地域で安否確認体制等に力を入れて取り組み頑張っております。しかし現在、福祉をめぐる状況も多様化し一民生児童委員だけの力では活動等の限界があります。今後福祉の向上をめざすために、地区社協はじめ各町内会等各種関係団体とお互いに連携を深めながら進めていくことが肝要なことと考えます。

地域のしあわせをみんなで築くことを理念に、私達民生児童委員一同微力ではありますが、地域のみんなで支えあい、助け合いの気持を大切にして頑張っていきたいと思いますので、皆様の温かいご指導ご協力をお願いします。

※平成21年度民生児童委員協議会の事業計画の重点目標として地域社会の実情を把握し、地域の信頼と期待に応えるため次の事項を推進する。

１．民生児童委員協議会の充実強化
① 民児協運営の改善強化、地区社協事業に積極的協力参加
② ４専門部会、地域会の強化
③ 研修会、事業への積極的参加

２．在宅福祉活動の推進
① 地域の把握と支援活動の推進（児童、母子、父子、障害者、高齢者、ひとり暮らし世帯）
② ボランティアの育成、福祉の心を育てる活動の推進
③ ネットワーク活動の活性化

３．心豊かな子供を育てる運動の推進
① 児童虐待の早期発見と適正指導
② 青少年の非行防止と社会環境浄化
③ 小学校、中学校訪問と懇談会の実施
④ 小、中学校児童のあいさつ運動、見守運動の実施
⑤ 主任児童委員制度の積極的活用

その他秋田市福祉保健部介護、高齢福祉課の在宅寝たきり、ひとり暮らし等高齢者実態調査に協力いたします。

民生児童委員交代のお知らせ

退任　髙　橋　政　成
新任　鈴　木　小百合（山根）
担当地域　野田・山根・上・下諸井・大部　各町内

民生児童委員によるあいさつ運動の様子

「町内会サロン」をみんなで育てよう

顧問　小野寺　一　志
（前河辺地区社会福祉協議会会長）

高齢社会になったことが第１の要因と思われるが、最近介護制度の利用希望者が増え、しかもヘルパー利用の在宅介護よりも施設利用の希望が増加しており、介護度の高さを意味することにもなる。この様な事態に対応するために創られた介護制度であるのだから、なんの気兼ねもすることなく利活用するべきだ。ただ社協の立場上、別の見地から介護予防の事業として、昨年から「１日でも長く健康で暮らす」ための活動として「町内会サロン」を行っている。

月１回をメドに開き、健康診断、軽体操、お茶飲み話、ゲーム、講話などの内容で行い、運営は参加者、町内会、老人クラブの役員・民生委員などの積極的な支援で行っている。

昨年の７町内会に、21年度の新規開設を加えて15サロンになってほしいと、指導を担っている河辺地域包括支援センターと共に期待している。

さて私事、合併をはさんで社協活動に参加すること22年余り、この度一線から退くことに相成り、長い間のご支援、ご指導に深く感謝致します。ありがとうございました。

こんにちは　河辺地域包括支援センターです

河辺地域のみなさま、夏本番を迎えお元気にお過ごしのことと思います。

平成19年４月から秋田市に包括支援センターが市内10ヶ所に設置されました。「河辺地域包括支援センター社協」は河辺地区を担当して３年目を迎えています。

地域にお住まいになる高齢者やそのご家族が抱えている「介護や健康のこと」「権利を守ること」等お困りになっている様々の課題、問題の相談を受付し、関係者と連携をとりながら、総合的に支えていくお手伝いをさせていただいています。

さらに河辺地域包括支援センターでは、河辺地区社会福祉協議会と連携して町内に「地域サロン」を広めているところです。現在15ヶ所でそれぞれ特徴をもったサロンを開催しています。また、介護予防のための健康と生きがいづくり事業「すこやか元気アップ教室」は、河辺総合福祉交流センターを会場に７月から開催しています。

高齢者を地域で見守るために、様々な職種や機関と連携しながらネットワークづくりも目指しています。これからも地域の皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

河辺地域包括支援センター社協
〒019-2625　秋田市河辺北野田高屋字上前田表66-1
TEL 018-882-5565　FAX 018-882-3467

平成21年度 河辺地区社会福祉協議会収支予算

収入総額　7,488,000円
支出総額　7,488,000円
差引残高　0円

収入の部

（平成21年４月１日～平成22年３月31日）　（単位：円）

項目		今年度予算額	前年度予算額	増減	説明
1.会費		2,415,000	2,415,000	0	2,400戸×@1,000
	1.一般会費	2,400,000	2,400,000	0	
	2.団体会費	15,000	15,000	0	
2.補助金		1,850,000	1,750,000	100,000	
	1.補助金	1,850,000	1,750,000	100,000	敬老会人員1,850人×@1,000
3.助成金		1,300,000	1,347,000	△47,000	
	1.市社協助成金	1,100,000	1,178,000	△78,000	地区推進費384千円　サロン30千円 健康生きがい574千円・子供支援20千円・メニュー選択92千円
	2.日赤助成金	200,000	169,000	31,000	日赤社資活動費
4.共同募金配分金		1,288,000	1,276,000	12,000	
	1.一般配当分	1,288,000	1,276,000	12,000	
5.寄付金		200,000	200,000	0	
	1.一般寄付金	150,000	150,000	0	
	2.指定寄付金	50,000	50,000	0	
6.繰入金		1,000	1,000	0	
	1.繰入金	1,000	1,000	0	
7.繰越金		424,000	486,000	△62,000	
	1.繰越金	424,000	486,000	△62,000	
8.雑収入		10,000	10,000	0	
	1.雑収入	10,000	10,000	0	芳志他
		7,488,000	7,485,000	3,000	

支出の部

（単位：円）

項目		今年度予算額	前年度予算額	増減	説明
1.運営費		1,093,000	980,000	113,000	
	1.会議費	200,000	80,000	120,000	
	2.旅費	300,000	300,000	0	
	3.事務費	593,000	600,000	△7,000	
2.事業費		4,720,000	4,735,000	△15,000	
	1.在宅支援事業	700,000	675,000	25,000	在宅単身高齢者200千円　サロン300千円　子育て20千円 リフレッシュ50千円　見守りネット130千円
	2.敬老支援事業	3,100,000	3,200,000	△100,000	
	3.研修費	550,000	580,000	△30,000	Eブロック50千円　福祉員300千円 役員・評議員200千円
	4.広報費	250,000	280,000	△30,000	年2回発行
	5.福祉大会	120,000	0	120,000	
3.助成金		584,000	704,000	△120,000	
	1.団体活動助成	450,000	585,000	△135,000	福祉団体、協力団体助成
	2.日赤活動助成	134,000	119,000	15,000	1,490千円×9%
4.慶弔費		60,000	25,000	35,000	
	1.慶弔費	60,000	25,000	35,000	弔電
5.負担金		879,000	889,000	△10,000	
	1.負担金	879,000	889,000	△10,000	負担金他
6.払出金		50,000	50,000	0	
	1.指定先払出金	50,000	50,000	0	河辺荘他
7.積立金		1,000	1,000	0	
	1.積立金	1,000	1,000	0	
8.雑支出		100,000	100,000	0	
	1.雑支出	100,000	100,000	0	
9.操出金		1,000	1,000	0	
	1.操出金	1,000	1,000	0	
10.予備費	1.予備費	0	0	0	
合計		7,488,000	7,485,000	3,000	

平成20年度事業報告書

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

皆様から親しまれ期待されている敬老会など恒例行事は、盛会のうちに終ることができたので報告を割愛し、本年度の特徴的な2点について報告をする。

まず1点は、平成20年度のスタート時に河辺地区社協の運営にとって想像しなかった事態が起きたことである。これまで市社協の職員でありながらも時間外に河辺地区社協の事務支援をはじめ、活動の総てについて重厚な支援を受けて今日に至った体制が市社協の体制整備による人事異動で皆無となり、完全自立運営が求められたことであった。合併前後を問わず事業量の変動はなく、むしろ町内会サロンの初年度を迎えようと模索中であること等を思うと、その心境はただならぬものがあったが、さすが河辺地区社協の評議員30人、事の重さを前向きに受けとめ持てるそれぞれの得意技を発揮し、予定通り終ることができたのであるがこれを支えてくれたのは日赤社資をはじめ、会費の納入、赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金に示された地区市民の熱意によるものであり、加えて市社協河辺事業所の皆さん、仕事の違いがあっても地区社協の支援・協力は、同僚の仕事として受けとめ担ってくれた。

特筆せねばならないのは河辺地区民児協の皆さんの協力、市民の個人情報保護法の関係する事項については、あたかも自分の仕事のように受け止め積極的な働きをいただいた。この様にすべての皆さんに「ありがとうございました」を申し上げる一年であり、感謝一杯の年であった。

2点目は新規事業で、町内会サロンである。当初の目標はなんとかして5町内会は発足させたいものと意気込んでいたが結果的に7グループの発足を実現させ各グループとも当初の計画通りやり通したものである。そして総ての町内会サロンで「よかった」「たのしかった」「健康維持のためになった」「月に一度逢うことが楽しい」等々その成果を口にする。そして、「また来年もやる」と結論づけている。

これを踏襲し、平成21年度のサロン開設は大きく伸びるものと期待している。この様な状況を作り出してくれたのが河辺地域包括支援センター社協の存在である。限られた人数でありながらも仕事の工面もよろしく、要望通りの時間に合せ昼夜を問わず参加して成功させてくれたのである。河辺地域包括支援センター社協がなかったら、サロンはできなかったし、やれなかった。ありがとう。

以下主要な行事を報告し、一層の指導支援をお願いするものである。

月　日	事　業　内　容
5月1日～5月31日	平成20年赤十字運動月間
6月19日	河辺地区社会福祉協議会役員会・評議員会
7月1日～7月31日	平成20年河辺地区社会福祉協議会会員増強運動
7月3日	平成20年度河辺地区社会福祉協議会福祉員研修
9月13日	平成20年度和田・豊島地区敬老会
9月14日	平成20年度岩見三内地区敬老会
10月1日～10月31日	平成20年度赤い羽根共同募金運動
11月4日	在宅単身高齢者日帰り交流会
12月1日～12月17日	平成20年度歳末たすけあい運動
2月6日	平成20年度在宅介護者リフレッシュ事業
2月25日	河辺地区社会福祉協議会役員研修
2月26日	河辺・雄和地区社会福祉協議会役員・評議員研修会
3月7日	平成20年度河辺地区社会福祉大会

年　間　地域福祉トータルケア事業
　すこやか元気アップ教室　6回開催

年　間　町内会サロン　7町内会延べ52回開催
　和田周辺地域・前田小高・台・東・八慶・黒沼・ぐみの

平成20年度 河辺地区社会福祉協議会収支決算書

収入総額　8,639,892円
支出総額　8,215,539円
差引残高　424,353円

収入の部　(平成20年4月1日～平成21年3月31日)　(単位：円)

項目		予算額	決算額	増減	説明
1.会費		2,468,000	2,468,000	0	
	1.一般会費	2,441,000	2,441,000	0	1戸当り@1,000円
	2.団体会費	27,000	27,000	0	
2.補助金		1,888,000	1,888,000	0	事務機器支援30,000円
	1.補助金	1,888,000	1,888,000	0	敬老会秋田市1人@1,000円×1,858人
3.助成金		1,502,000	1,503,018	1,018	
	1.市社協助成金	1,287,000	1,287,926	926	
	2.日赤助成金	215,000	215,092	92	日赤推進費
4.共同募金配分金		1,276,000	1,276,490	490	
	1.一般配当分	1,276,000	1,276,490	490	赤い羽根配当金1,276,490円
5.寄付金		586,000	586,912	912	
	1.一般寄付金	316,000	316,912	912	香典返し・篤志
	2.指定寄付金	270,000	270,000	0	
6.繰入金		399,000	399,920	920	歳末たすけあい募金より200,000円
	1.繰入金	399,000	399,920	920	特別会計より199,920円
7.繰越金		486,000	486,172	172	
	1.繰越金	486,000	486,172	172	
8.雑収入		31,000	31,380	380	
	1.雑収入	31,000	31,380	380	
合計		8,636,000	8,639,892	3,892	

支出の部　(単位：円)

項目		予算額	決算額	増減	説明
1.運営費		1,495,000	1,451,109	△43,891	↓事務従業員347,000円
	1.会議費	45,000	40,214	△4,786	パソコン代199,000円
	2.旅費	100,000	92,080	△7,920	コピー68,000円　印刷136,000円
	3.事務費	1,350,000	1,318,815	△31,185	
2.事業費		4,835,000	4,820,395	△14,605	トータルケア65,000円
	1.在宅支援事業	890,000	888,168	△1,832	サロン150,000円
	2.敬老支援事業	3,200,000	3,199,734	△266	
	3.研修費	500,000	491,592	△8,408	
	4.広報費	130,000	126,000	△4,000	
	5.福祉大会	115,000	114,901	△99	
3.助成金		563,000	562,070	△930	
	1.団体活動助成	414,000	413,160	△840	
	2.日赤活動助成	149,000	148,910	△90	
4.慶弔費		90,000	89,405	△595	弔電
	1.慶弔費	90,000	89,405	△595	
5.負担金		914,000	913,760	△240	負担金他
	1.負担金	914,000	913,760	△240	
6.払出金		270,000	270,000	0	河辺荘他
	1.指定先払出金	270,000	270,000	0	
7.積立金		1,000	0	△1,000	
	1.積立金	1,000	0	△1,000	
8.雑支出		110,000	108,800	△1,200	
	1.雑支出	110,000	108,800	△1,200	
9.操出金		1,000	0	△1,000	
	1.操出金	1,000	0	△1,000	
10.予備費	1.予備費	357,000	0	△357,000	
合計		8,636,000	8,215,539	△420,461	